

市民公開講座「大腸がん治療を知ろう」の報告書

2016年3月28日

報告者：京都薬科大学 臨床腫瘍学分野 教授
がんプロコーディネーター 吉貴 達寛

日時：平成28年2月20日（土）14：00～17：30

場所：京都薬科大学 愛学ホール

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

参加者数：41名（一般市民：22名、職員11名、学生8名）

概要：本市民公開講座は、がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（以下、がんプロセス）主催のもと、一般市民の方々に向けて、がん診療に対する知識の啓発活動の一環として行われ、今回は大腸がんの、①病態、②薬物療法、③緩和ケアについて本学教員（医師、薬剤師）および緩和ケア認定看護師（大阪府済生会野江病院）から講演を行った。

内容：

まず、臨床腫瘍学分野の中田晋准教授が、大腸がん診療の概略について講演した。特に、大腸がんは我が国の女性のがん死亡において最多となっている点、便潜血検査を用いた大腸がん検診の受診率が低い点、要精密検査と判定されたにもかかわらず大腸内視鏡検査を受けない割合が40%もあるという点などが、予防上の大きな問題であり、また改善すべき点であることを強調し、啓蒙につとめた。さらに、早期で発見されれば、内視鏡的治療によって高い確率で低侵襲に完治できること、近年は腹腔鏡補助下の大腸がん切除術が普及してきていること、肝臓や肺などに遠隔転移した場合にも切除可能であれば治療する場合期待できることの説明を通し、可及的早期発見が何よりも重要であることを啓蒙した。そのうえで、近年の分子標的薬を中心とした新薬の登場と治療レジメンの改良に伴って、切除不能症例や再発高リスク群に対する薬物療法の治療成績も向上しており、専門的教育を受けた「がん専門薬剤師」を含むチーム医療体制のさらなる充実に貢献しようとする本学の姿勢を訴えた。

次に、臨床薬学教育研究センターの中村 暢彦講師が、「抗が

覚えておいていただきたいこと

大腸がん

- “はやく見つける” ために便潜血検査を受けましょう
- 異常があれば必ず大腸内視鏡検査をうけてください
- 身体にやさしい治療（内視鏡・腹腔鏡）も進歩しています
精密検査を受けて最も適切な治療を選択しましょう

もし、手術出来ない大腸がんが見つかった場合でも、
薬剤の進歩により、治療成績は大きく改善しています
薬剤の適切な使用がとても大切です

ん薬治療における副作用対策」と題して大腸がんの薬物療法の効果と副作用対策について紹介した。大腸がんで使用する抗がん薬は7種類であり、抗がん薬の組み合わせや持続点滴などの用法・用量の工夫により生存期間の延長が示されている。しかしながら、再発・切除不能例の大腸がんにおいては抗がん薬を使用せず症状を和らげる対処療法よりは確実に生存期間の延長が見込まれるが、抗がん薬治療の効果は生存期間の延長として20ヶ月程度に留まっているのが現状である。一方、1980年代はがん薬物療法の副作用の上位であった悪心・嘔吐については制吐薬が開発され対策が講じられている。現在、問題となっている抗がん薬の副作用は分子標的薬による皮膚障害である。大腸がんに使
用される分子標的薬は80~90%に皮膚障害が全身に発症して日常生活にも影響を及ぼす。皮膚障害は致命的な副作用ではないが、抗がん薬の効果が高い患者程、皮膚障害も強くでることが示され予防が重要となってくる。また日常生活に影響を及ぼす末梢神経障害や手足症候群についても予防法が紹介され、患者は事前に薬剤師にどのような対処法があるかを聞いておけば副作用が悪化する前に早く対応することが可能になると伝えられていた。

Take-home message

投与する抗がん薬によって副作用の種類や程度が違います。どのような副作用が起こりやすいか、どのような対処法があるかを薬剤師に聞いておくことが大切です。あらかじめ副作用に対する心構えができていれば、副作用を乗り越えやすく、ひどくなる前に早くに対応することが可能となります。




最後に、臨床薬学教育研究センターの松村千佳子助教、大阪府済生会野江病院 渡邊美貴看護師から「緩和医療」についての講演がなされた。松村助教は「もっと身近に緩和ケア～薬剤師の立場から～」を担当し、1) がんのつらさについて、2) 緩和ケアを受ける時期、3) 痛みの治療について、4) 医療用麻薬の誤解、とし、市民の方々に緩和ケアについて知っていただき、もっと身近に緩和ケアを感じていただくことを目標に講演をさせていただいた。また緩和ケアは多職種連携と協力で行うケアであり、また特殊なケアでないことを強調し、講演を締めくくった。渡邊美貴看護師は「もっと身近に緩和ケア～看護師の立場から～」を担当

まとめ

- がんのつらさについて
 - 身体的苦痛、精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペイン
- 緩和ケアを受ける時期
 - 終末期の患者だけが対象ではありません。
がんと診断を受けた時から。
- 痛みの治療法
 - WHO3段階ラダー
- 医療用麻薬の誤解
 - 痛みのある患者に正しく使用すると中毒にはならない。


当し、DVD 放映と講義とを合わせた内容で行った。松村氏の講演 3 を聴講後に DVD を放映し、松村氏の内容とそれに続く私の内容を繋ぐ役割と、市民の方々により緩和ケアをイメージしてもらいやすいように構成した。講演のテーマは①緩和ケアってなに？ ②緩和ケアはいつから受けられる医療？ ③望ましい緩和ケア —あなたが大切にしているもの— ④緩和ケアチームについて ⑤人生の終末に考える—自分と向き合う—とし、市民の方々に緩和ケアは最期に行うものでないこと、その人の人生をより豊かにするためのものであることを強調し、少しでも緩和ケアのことを身近に感じていただけることを目標に講演を行った。また、こういった内容を相談する場所としてがん相談支援センターがあることの情報提供を行い、講演を終了した。

緩和ケアって何？



重い病を抱える患者やその家族一人一人の
身体や心などのさまざまなつらさをやわらげ、
**より豊かな人生を送ることができるように
支えていくケア**

日本緩和医療学会「緩和ケアの基礎知識」



がん相談しえんセンター



あなたの理解を
助けます

あなたの家
族も支えます

あなたとご一
緒に探します

あなたに
あった
情報を提供
します

あなたの心
を支えます

あなたの
生活を支援
します

終了後、アンケート調査を行い、34 名の聴衆から回答をいただいた。結果は（別添 1）のとおりで、今後の公開講座企画の参考とした。



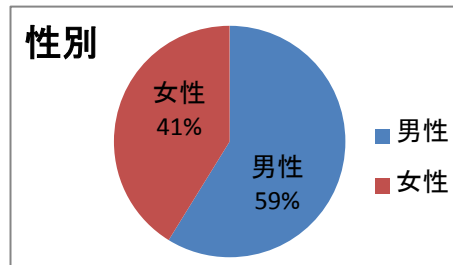
市民公開講座「大腸がん治療を知ろう」アンケート集計

日時：2016年 2月 20日（土） 14:00～17:00
 会場：京都薬科大学 愛学ホール（A31講義室）

1. 聴講された方について

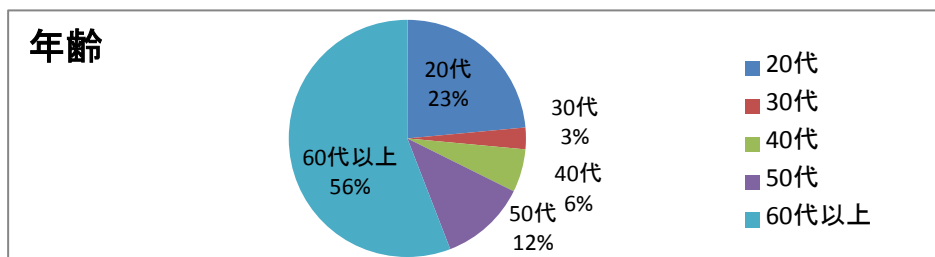
①性別をお知らせください。

性別	男性	女性	計
人数	20	14	34
%	59%	41%	100%



②年齢をお知らせください。

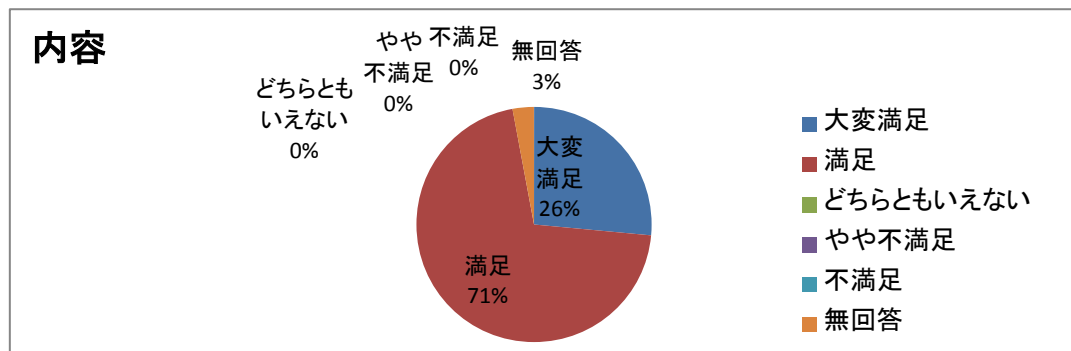
年齢	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
人数	8	1	2	4	19	34
%	24%	3%	6%	12%	56%	100%



2. プログラムについて

①今回のプログラムの内容はいかがでしたか。

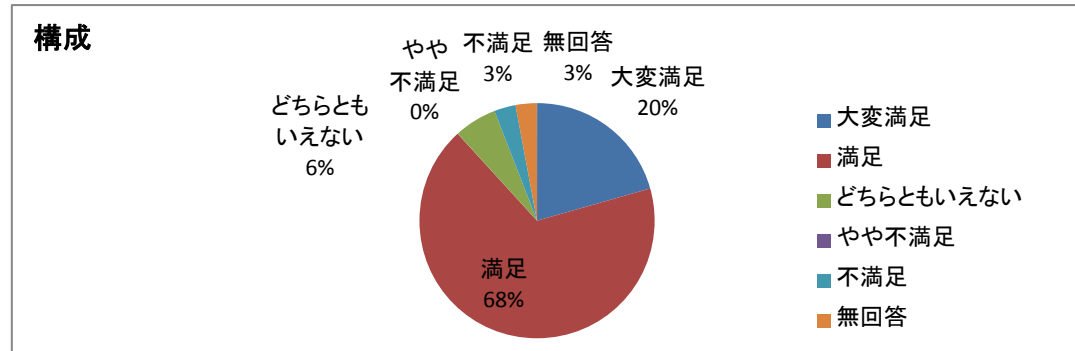
内容	大変満足	満足	どちらとも いえない	やや不満足	不満足	無回答	計
人数	9	24	0	0	0	1	34
%	26%	71%	0%	0%	0%	3%	100%



理由（プログラム内容）	評価	性	年代	回答No.
中田先生のお話きけて良かったです。	満足	男	30	1
おもしろく、わかりやすい。	満足	男	20	5
医師－薬剤師－看護師との連携は良い様に思います。	満足	男	60	6
「大腸がん」に関する学習が出来ました。	大変満足	男	60	11
医療現場の先生方の実際の経験が聞けてよかった。	満足	男	50	12
緩和医療のテーマが良かったです。	満足	男	60	13
大腸がんの発生、検査、治療方法・・・と順を追った内容でよかった。	満足	女	50	14
身近な話題であるから。	大変満足	男	60	15
中田先生「大腸がんについて」は大変良い話を聞かせて頂きました。（便潜血検査） ・正しい排便方法	大変満足	男	50	17
検査の必要性が大変よく理解できわかりやすかった。	大変満足	女	60	30
大腸がんという一つの疾患に絞って、発生機序から薬物治療や副作用対策など一つの流れでお話を聞けたため。	満足	女	20	31

②プログラムの構成はいかがでしたか。

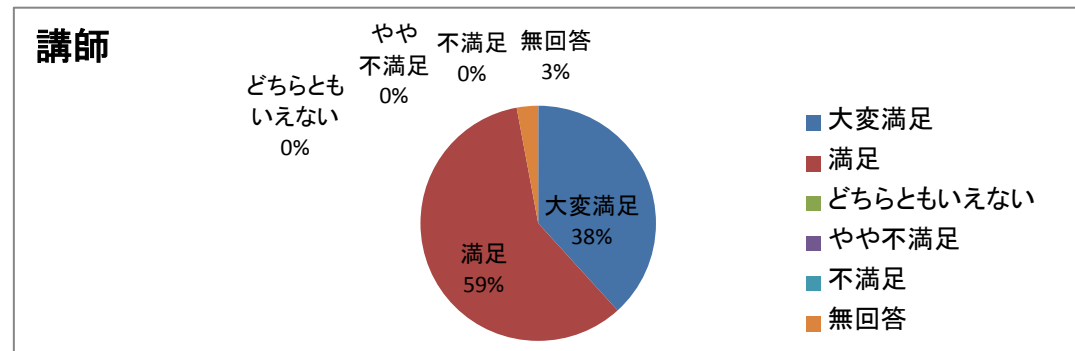
構成	大変満足	満足	どちらとも いえない	やや不満足	不満足	無回答	計
人数	7	23	2	0	1	1	34
%	21%	68%	6%	0%	3%	3%	100%



理由 (プログラム構成)	評価	性	年代	回答No.
途中で退室のため。	どちらともいえない	男	30	1
大腸がんとは何か、から治療、緩和と流れがあつて良かった。	満足	女	20	2
医師－薬剤師－看護師との連携は良い様に思います。	満足	男	60	6
治療とケアの経緯の流れになっていた。	大変満足	男	60	11
大腸がん→副作用→緩和の順であつたので、理解がしやすい。	満足	男	60	15
30分間は少なくもっと聞きたいと思いました。 食後で講義室がぐらくなった時ねむくなった。	不満足	男	50	17
検査の必要性を説明していただき、不幸にして発病した場合の治療療養に関する説明をしていただくという形式で大変良かった。	大変満足	女	60	30
医師の視点、薬剤師の視点などが明確だったため。	満足	女	20	31
病気→治療薬の流れでの構成がよかった。	大変満足	女	40	33

3.講師について

講師	大変満足	満足	どちらとも いえない	やや不満足	不満足	無回答	計
人数	13	20	0	0	0	1	34
%	38%	59%	0%	0%	0%	3%	100%

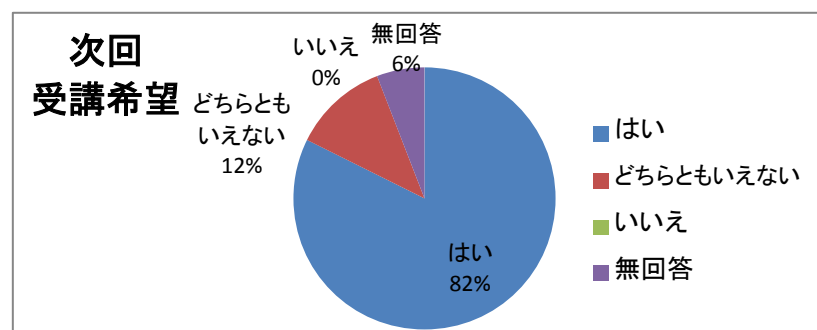


理由 (講師)	評価	性	年代	回答No.
動画など含め非常に知識が確認できました。	満足	男	30	1
分かりやすく説明して下さるので、大変興味深く講演を聞くことができました。	大変満足	女	20	2
がん治療の観点から「死」を考える意味で「宗教家」も加わっても良いのでは？	満足	男	60	6
平易な説明で判り易い。	大変満足	男	60	11
各講師とも解りやすい講演でした。	満足	男	60	13
市民向けにわかりやすい言葉、図で説明され理解しやすかった。	満足	女	50	14
分かりやすい内容であった。	大変満足	男	60	15
講師の皆様方、ありがとうございます。	大変満足	男	50	17
具体的に普段の生活に添ったお話をして下さり理解し易かったです。	大変満足	女	60	22
中田先生の講座が特に良かった。	大変満足	男	60	23
松村先生のお話は薬の使用に関し、非常に解りやすく理解出来た。	大変満足	男	60	23
わかりやすく講義をしていただきよかったです。	大変満足	女	60	30
専門としている先生方が講師として話してくださいました。	満足	女	20	31
わかりやすかった。	大変満足	女	40	33

4.その他

①このような講座があれば、また受講したいですか。

次回受講希望	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	計
人数	28	4	0	2	34
%	82%	12%	0%	6%	100%



②他に「がんに関する内容」で聴講してみたい内容がありましたらご記入ください。

内容（聴講したい内容）	次回受講希望	性	年代	回答No.
肺がん。子宮頸がん。	はい	女	20	2
実際の患者さんの闘病経験（副作用について）	はい	男	60	6
「がん」の種別やその他病気別のテーマについて	はい	男	60	11
予防について	はい	男	50	12
他大学ではがん患者の講演も盛り込まれていました。このような企画も興味深いです。	はい	男	60	13
女性特有のがんについて	はい	女	50	14
がんになった時や家族の心構えなど聴講してみたい。もっとQOLを聞きたい。	はい	男	50	17
抗がん剤の新薬について	はい	男	50	18
前立腺がんに関するテーマ	はい	女	60	19
今回は治療に関する内容でしたが、やはり予防に関する話が聞きたいです。	はい	男	40	20
患者同志の意見の場もあってもよい。	はい	女	60	21
大腸以外のがんのお話もして欲しい。	はい	男	60	23
胃ガン（ピロリ菌を含む）	はい	女	60	24
女性特有のガン	はい	女	60	25
最近特に増えているガン	はい	男	60	27
今一つ自身の理解不足を感じました。	はい	男	60	27
胃、食道がんについて	はい	女	60	30
乳がん	はい	女	40	33
肺がん	はい	女	60	34

③本講座を聴講されてお気づきの点がありましたら、自由にご記入ください。

お気づきの点	次回 受講希望	性	年代	回答No.
良く理解出来ました。	はい	男	60	7
便が4-5年前はバナナのような便が出ていたが今は小指のように細い物が出ます。受診する必要ありか見てもらいます。	どちらとも	男	60	8
役に立つと思います。	どちらとも	女	60	9
症例や事例等が紹介して頂ければ良いと思う。	はい	男	60	11
公開講座の案内をもっと早くしていただければ聴講者も増えると思います。	はい	女	50	14
緩和ケア「5つの支援」ガンの緩和ケアはインフォームドコンセプトがあった時よりとあったが患者としては、例)便潜血検査をする前に検査のあとの手あてのしかたも心の緩和ケアと思います。	はい	男	50	17
チーム医療の重要性について再認識しました。	はい	男	50	18
こんなによい市民公開講座があることを意識したことがなかった。 今後機会をみつけて、積極的に聴講したいと思います。 国家の多額の支援でこのようなチャンスがあるのを、もっと啓発周知して来講してもらいたい！	はい	女	60	19
時間が長い気がします。もう少し時間管理が必要かもしれません。	はい	男	40	20
個々を取りあえ、深く取り上げてほしい。 時間が長い。	はい	女	60	21
講演されたどの先生方も、一般市民にもわかり易い言葉で説明下さり、有難く聴かせて頂きました。これから先の生活に大変参考になりました。(万が一の場合)早期発見、早期治療に努めたいと思いました。良いお話ありがとうございました。	はい	女	60	22
他にも健康に関する講習があると良い。	はい	男	60	23
せつかくのすばらしい公開講座ですが、ほとんどの市民に知れていないように感じます。もっとチラシを早く作って知らせて欲しい。	はい	女	60	25
がんへの不安を持つなか、講座を聴講して、内容もわかりやすく自分のがんへの誤解なども正され、本当に良かったと実感しております。	はい	女	60	26
全体的な事がわかり、役に立ちました。	はい	男	60	27